

令和6年度第5回青梅市子ども・子育て会議 要旨

会議の概要

開催日時		令和6年11月1日（金）
開催場所		青梅市役所災害対策本部室（オンライン併用会議）
出席者	委員	坂井隆之（明星大学特任教授） 中村明子（市民委員） 野口綾乃（市民委員） 黒田英寿（学校法人和風会多摩リハビリテーション学院専門学校事務長） 池田政教（青梅商工会議所専務理事） 高木博康（青梅市保育園理事長会副会長） 藤野唯基（駒木野保育園園長） 松井良（青梅市立第五小学校校長） 空野竜雄（株式会社モアスマイルプロジェクト経営担当） 栗原久美子（特定非営利活動法人青梅こども未来常務理事） 大野葉子（青梅市民生児童委員合同協議会理事）
	事務局	青木（こども家庭部長） 濱野（子育て応援課長） 加藤（こども育成課長） 中村（こども家庭センター所長） 江川（こども家庭部主幹） 師岡（子育て応援課子育て推進係長） 飯島（子育て応援課子育て推進係） 黒田（株式会社名豊）
欠席委員		横山牧人（青梅幼稚園園長）
議事		○ 諮問 （１）特定教育・保育施設の利用定員の設定について（諮問） ○ 協議事項 （１）特定教育・保育施設の利用定員の設定について ア 駒木野保育園の利用定員の変更について イ 友田保育園の利用定員の変更について ウ 新町東保育園の利用定員の変更について エ 三田保育園の利用定員の変更について オ 今寺保育園の利用定員の変更について カ 青梅あけぼの幼稚園の利用定員の変更について キ ねむのき幼稚園の利用定員の変更について （２）こども計画の原案について （３）その他
傍聴人数		2人

配布資料	資料1 特定教育・保育施設の利用定員の設定について（諮問） 資料2 特定教育・保育施設の利用定員の設定について 資料3 こども計画の原案について 資料3 付属1 こども計画体系図 資料3 付属2 こども計画策定スケジュール 参考資料 こどもアンケート こどもの意見聴取 まとめ版 参考資料 若者アンケート 11/1 速報版 参考資料 令和7年度からの青梅市社会福祉施策推進体制について
------	---

議事要旨（口述筆記ではなく、発言の趣旨をまとめたものである。）

発言者	発言要旨等
事務局	令和6年度第5回青梅市子ども・子育て会議を始める。本日の司会進行を勤める子育て応援課長の濱野です。（会議の成立について報告） （録音、コンサルタントの参加について報告） （こども・子育て施策庁内推進委員会の委員の同席の報告）
事務局	配布資料の確認を子育て推進係長より行う。
会長	（挨拶）
会長	次第3の諮問について事務局より説明をお願いします。
事務局	特定教育・保育施設の利用定員の設定について諮問がある。 資料1をご覧ください。
事務局	（こども家庭部長から坂井会長へ諮問書）
会長	次第4の協議事項（1）特定教育・保育施設の利用定員の設定について、事務局より説明をお願いします。
事務局	（資料2に基づき駒木野保育園の利用定員変更について説明を行う）
会長	この件について、ご質問・ご意見はあるか。
会長	ご意見がないようなので、この件については承認されたものとする。 続いて、事務局より説明をお願いします。
事務局	（資料2に基づき友田保育園の利用定員変更について説明を行う）
会長	この件について、ご質問・ご意見はあるか。
会長	ご意見がないようなので、この件については承認されたものとする。 続いて、事務局より説明をお願いします。
事務局	（資料2に基づき新町東保育園の利用定員変更について説明を行う）
会長	資料2の4頁において、合計値の差分が「20」と記載されているが「15」の誤りではないか。
事務局	ご指摘のとおりであり、修正する。
会長	この件について、ご質問・ご意見はあるか。
会長	ご意見がないようなので、この件については承認されたものとする。 続いて、事務局より説明をお願いします。
事務局	（資料2に基づき三田保育園の利用定員変更について説明を行う）
会長	この件について、ご質問・ご意見はあるか。
委員	令和6年度の園児数は27人となっているが、なぜ利用定員を20人に変更するのか。
事務局	来年度卒園する園児が9人いる状況であり、在園中の園児数は18人となる予定である。新規の入園児数を考慮しても園児の合計が20人を超える可能性は低いという見込みから定員を20名としている。
委員	承知した。
会長	その他、ご意見がないようなので、この件については承認されたものとする。 続いて、事務局より説明をお願いします。
事務局	（資料2に基づき今寺保育園の利用定員変更について説明を行う）
事務局	一点、補足させていただく。これまで説明した保育園においては、利用定員の90%を下回る事があった。しかし、今寺保育園については、これまでのところ利

	用定員の 90%を下回った実績はない。その点も踏まえて、ご協議をお願いします。
会長	この件について、ご質問・ご意見はあるか。
委員	現在の園児数を考慮すると定員を変更する必要があるのか。
委員	仮に利用定員を上回る児童が入園したとしても弾力的運用によって対応することは可能である。今寺保育園も見込みがないということで、この数字を提示しているのではないか。
委員	増改築に伴う定員の変動はあり得るのか。
事務局	統合なども含めてこれまでそのようなケースは存在した。今後も、単独の増改築も含めてそうしたケースはあり得る。
委員	雇用体系についてはどのようなになっているか。
事務局	雇用体系は施設によってまちまちだが、多くは常勤職員である。常勤を基本として非常勤を運用しているケースが多いと認識している。
委員	運用によって定員数が変わる可能性はあるのか。
事務局	その点も含めて、各施設は定員数の希望を出していると認識している。現状の雇用状況も踏まえた数値となっている。
会長	その他、ご意見がないようなので、この件については承認されたものとする。続いて、事務局より説明をお願いします。
事務局	(資料 2 に基づき青梅あけぼの幼稚園の利用定員変更について説明を行う)
会長	この件について、ご質問・ご意見はあるか。
委員	参考までに、東京都の件に関して、幼稚園についてはどうか。
事務局	幼稚園については 20 名いかないケースもある。
会長	その他、ご意見がないようなので、この件については承認されたものとする。続いて、事務局より説明をお願いします。
事務局	(資料 2 に基づきねむのき幼稚園の閉演・利用定員変更について説明を行う)
会長	この件について、ご質問・ご意見はあるか。
委員	理由が適切ではないのではないか。
事務局	施設からいただいた理由を掲載している。その他の理由も考えられる。
委員	記載のない年齢があるが。
事務局	記載のない年齢については変更なしとなる。
会長	その他、ご意見がないようなので、この件については承認されたものとする。次に、次第 4 (2) こども計画の原案について、事務局より説明をお願いします。
事務局	(資料 3 に基づきこども計画の原案について説明を行う)
会長	この件について、ご質問・ご意見はあるか。
委員	事前に配布された資料と机上配布の資料でページ数などが異なるため、事前配布の資料でご説明いただいた方がよいと思うが。 また、54 頁「計画全体の指標」について、目標は現状を上回るものでなければならないと思うが、いかがか。
事務局	資料については申し訳ない。 目標値は総合戦略等を参考に設定しているため、現状値と整合が取れていない可能性がある。
委員	青梅市の年度出生数については計画年度とも一致しておらず、不要ではないか。
事務局	検討させていただく。

委員	第4章について、以下の点に対応していただきたい。 ・こども基本法や子どもの権利条約について（56 ページなど）、市民対話などの表現があるが、もう少し具体的な方法を記載したほうがよい。 ・「こども基本法の周知」について、ホームページ等で公開だけではなく、保護者なども念頭に置いて具体的方法を記載したほうが良い。 ・複数個所で「プレーパーク」という表現が出ているが、名称などが変化することとも考慮して「プレーパーク等」としたほうがよい。 ・58 頁に「ボランティアの育成」とあるが、育成だけではなく「ボランティアの活用」などの記載も加えて、意思のある方の運用について記載を厚くしていただきたい。 ・61 頁の障がい児支援について、「障がい」「インクルーシブ」等の表現があるが、障がいとは言わないが発達などに困難を抱える子どもについての記載が足りないように思われる。「インクルーシブ」等と絡めて記載することはできないか。 ・62 頁の児童虐待防止について、CAP というプログラムが青梅市で動いており、重要だと思われるため参考までに紹介させていただく。 ・65 項のウェルビーイングについて、子育て広場の活用というところで、「絵本の読み聞かせなどを通じて」となぜ絵本だけに特化しているのか。子育て広場は絵本を読み聞かせるだけの場ではないのでもう少し幅広くし方がよい。入れるのであれば広場事業の活用のところに入れるのはどうか。 ・「遊び・文化・芸術に触れる機会・体験のチャンス」という点にも触れてほしい。 ・長期的に対応してもらえる相談支援についても重要だと思われる。 ・青梅市内の幼稚園ではなく、市外の幼稚園に通う子どもが多いと聞く。何らかの対策ができないか。 ・青梅市内の児童クラブは全て学校内にあるが、学校内で関係してしまう点については再興したほうが良い。また、児童クラブの質の向上についても触れていただきたい。
事務局	検討させていただく。児童クラブについては、学校内にあることについては検討が必要だと感じている。施設整備については、冷房の設置などを行っているが、随時検討していきたいと思う。
委員	学童について、夏休み期間には普段学童を利用していない子どもが利用することも想定した計画としてほしい。 若者アンケートについて、情報を積極的に得ようとしらない方もいるため、その方たちの意識がくみ取れていないことが心配である。ニーズ調査についても、学校で十分に周知されていた印象はなかった。
事務局	学童については、夏休みだけ募集する取組も行っているが、普段と別の学校に行くケースもあるため、検討が必要な状況であると認識している。 調査については、複数回実行するなど有効ではないかと考えており、来年度の実施も検討中である。
会長	ご質問・ご意見はあるか。
委員	44 頁「計画の構成」「障害児支援・医療的ケア児等への支援」について、医療的ケア児の場合、看護師等を雇用したのちに、医療的ケアが必要でなくなるケース

	もあるのではないかな。 また、保育士の雇用などについての環境整備についても項目として入れることが必要なのではないかな。
事務局	障害児に関連する計画との整合も考慮して検討する。
会長	ご質問・ご意見はあるかな。
委員	95 頁、事業所内保育事業について、需要の状況に応じて検討とあるが実際に需要はあるのかな。
事務局	事業所内保育所を設置する事業所がない状況である。院内保育所という形で運営しているケースはある。また、この保育所は 0-2 歳までしか預けられないため、将来的に保育所を移る必要がある。需要はないというのが現状である。
委員	5 頁について、青梅市こどもまんなか応援基金は独自のことだが、無償化に関しては青梅市独自ではないため表現を修正するべきではないかな。
事務局	独自というのは、国や東京都から補助金をもらわずに市の予算だけで成り立っているという意味合いが強い。また、1 市しかやっていないから独自というわけではなく、複数の市がやっている中でも優れていたり、特色を出して実施しているものということである。
委員	統計の出典がバラバラなのはいかがなものかな。それしかないのであればよいが。
事務局	国勢調査は 5 年毎なので、最新版は令和 2 年のものになる。それよりも新しい年の数値が出せるものについては国勢調査以外からの出典となる。
委員	92 頁について、令和 6 年から令和 7 年で認可保育所の人数が倍以上になっている要因はあるかな。
事務局	令和 6 年以前の数値から推計されたと考えられる。
委員	89 頁以降について、現状と推計で違うような気がするが。
事務局	5 年間の数値を参照して算出した変化率を用いて推計している。
委員	60 が 140 に増えているのはおかしい。それ以外の箇所でも現状と推計の乖離が大きいところが見られる。
事務局	確認して修正する。
委員	プレーパークといわれるとすごく壮大なものを想像してしまうので、わかりやすく「外遊び型子育て広場」のような掲載方法はいかがかな。 また、出典の記載方法が不明確だと感じていたので検討していただきたい。
事務局	プレーパークという目標は持っているのですが、それは残した上で記載の方法を考えたいと思う。
会長	62 頁について、「②社会的養護を必要とするこども・若者に対する支援」に「外国人のための日本語教室」という項目が含まれているが、これは社会的養護には含まれないと思われる。
事務局	修正させていただく。
事務局	今後のスケジュールだが、11 月 8 日まで引き続きご意見をいただき、反映、修正したものを 11 月 16 日あたりまでにお戻しし、11 月 25 日までに確認していただく。
事務局	次回の会議は令和 7 年 1 月 16 日木曜日、場所は災害対策本部室にて開催する。 以上で会議を終了する。